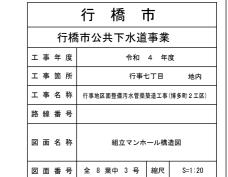
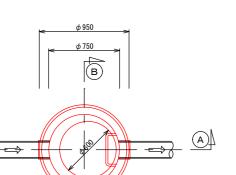


# 組立マンホール構造図 ಽ=1:20

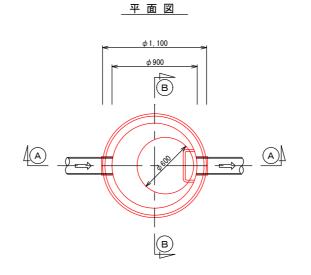
#### 組立0号マンホール標準図

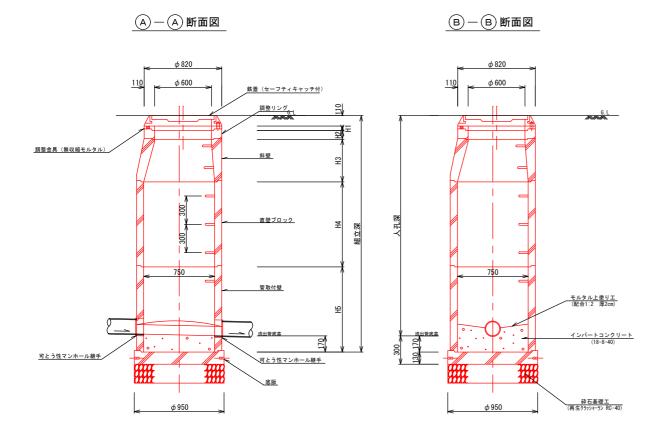
#### 組立1号マンホール標準図

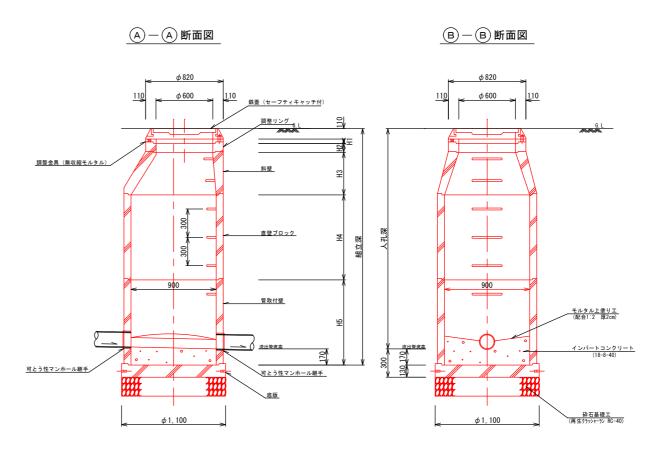




平面図







## マンホール構造図<u>S=1:20</u>

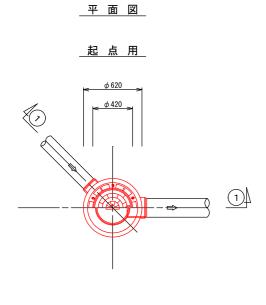
### 取付管布設標準図

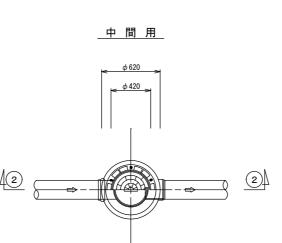
				行 稿 巾			
	行橋市公共下水道事業						
I	事	年	度	令和 4 年度			
I	事	箇	所	行事七丁目 地内			
I	事	名	称	行事地区面整備汚水管渠築造工事(博多町2工区)			
路	線	番	号				
Ø	面	名	称	小型マンホール構造図 取付管布設標準図			
100	兩	*	문	全 8 葉山 4 号			

#### 小型マンホール(φ300)標準図

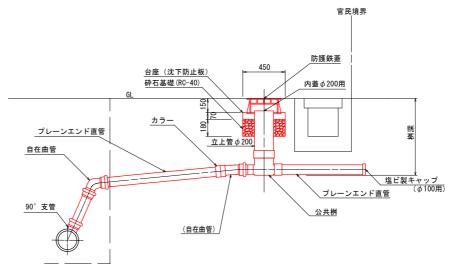


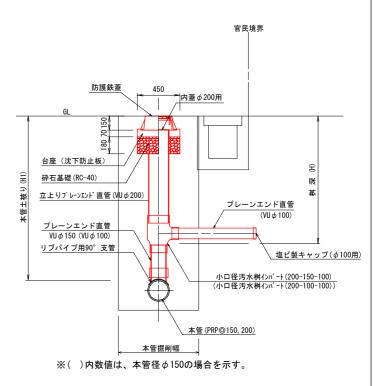
タイプA (本管までの距離が短い場合)





平面図

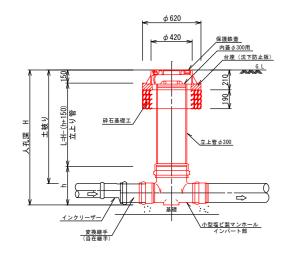


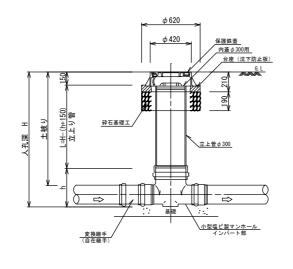


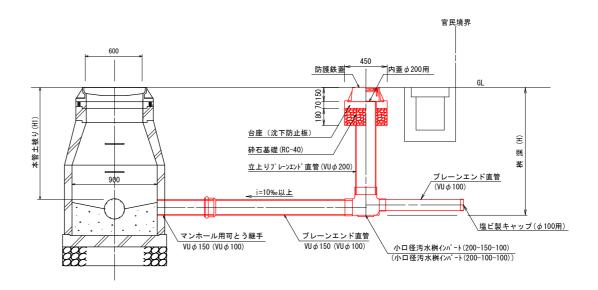
1 一1 断面図

2 - 2 断面図

タイプD (人孔直結)





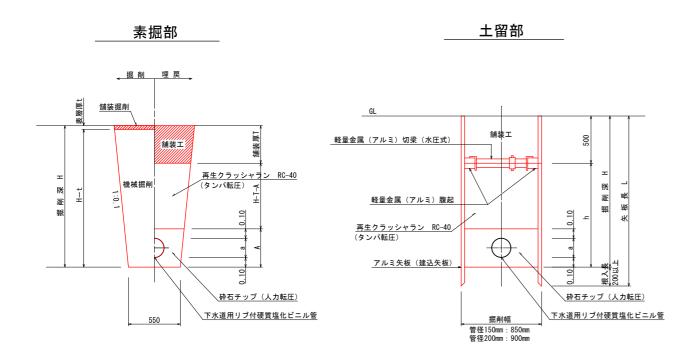


※( )内数値は、本管径 φ 150の場合を示す。

				;	行		橋	ī	†ī	
			行	橋ī	ħ	公夫	ŧΤ	水	道事:	<del>業</del>
I	事	年	度				令和	0 4	年度	
I	事	箘	所					行事	七丁目	地内
I	事	名	称	行马	#地	区面整	備汚	水管渠	築造工事	(博多町2工区)
路	線	番	号							
Ø	面	名	称						準断面[工構造[	_
Z	面	番	号	全	8	葉中	5	号	縮尺	S=1:20

## 管布設標準断面図

S=1:20

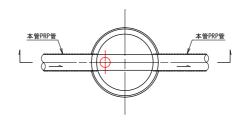


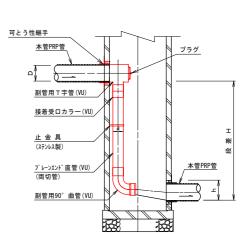
## 副管設置工構造図

S=1:30

平面図(内副管タイプ)

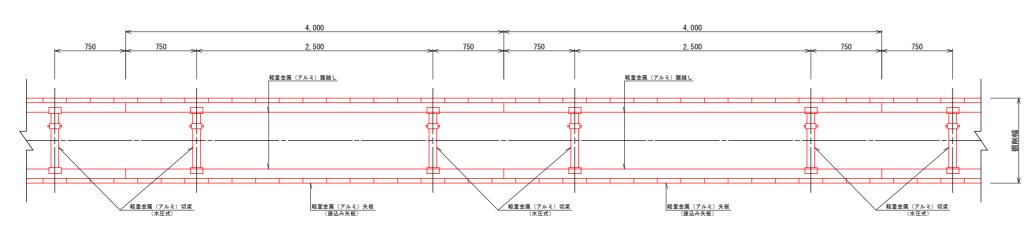
断面図





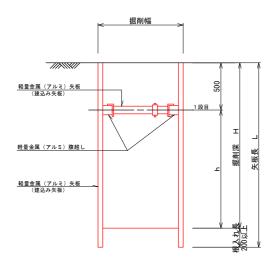
# 土留工標準図 <sub>S=1:20</sub>

#### 平 面 図



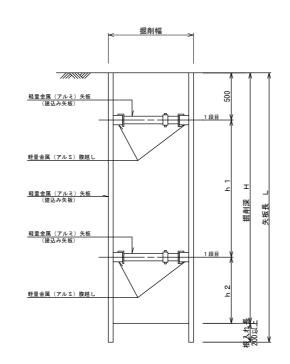
#### 断 面 図

#### アルミ矢板建込 タイプ① (アルミ矢板: L=2.00~2.50m) (掘削深: H=1.50<H≦2.00m)

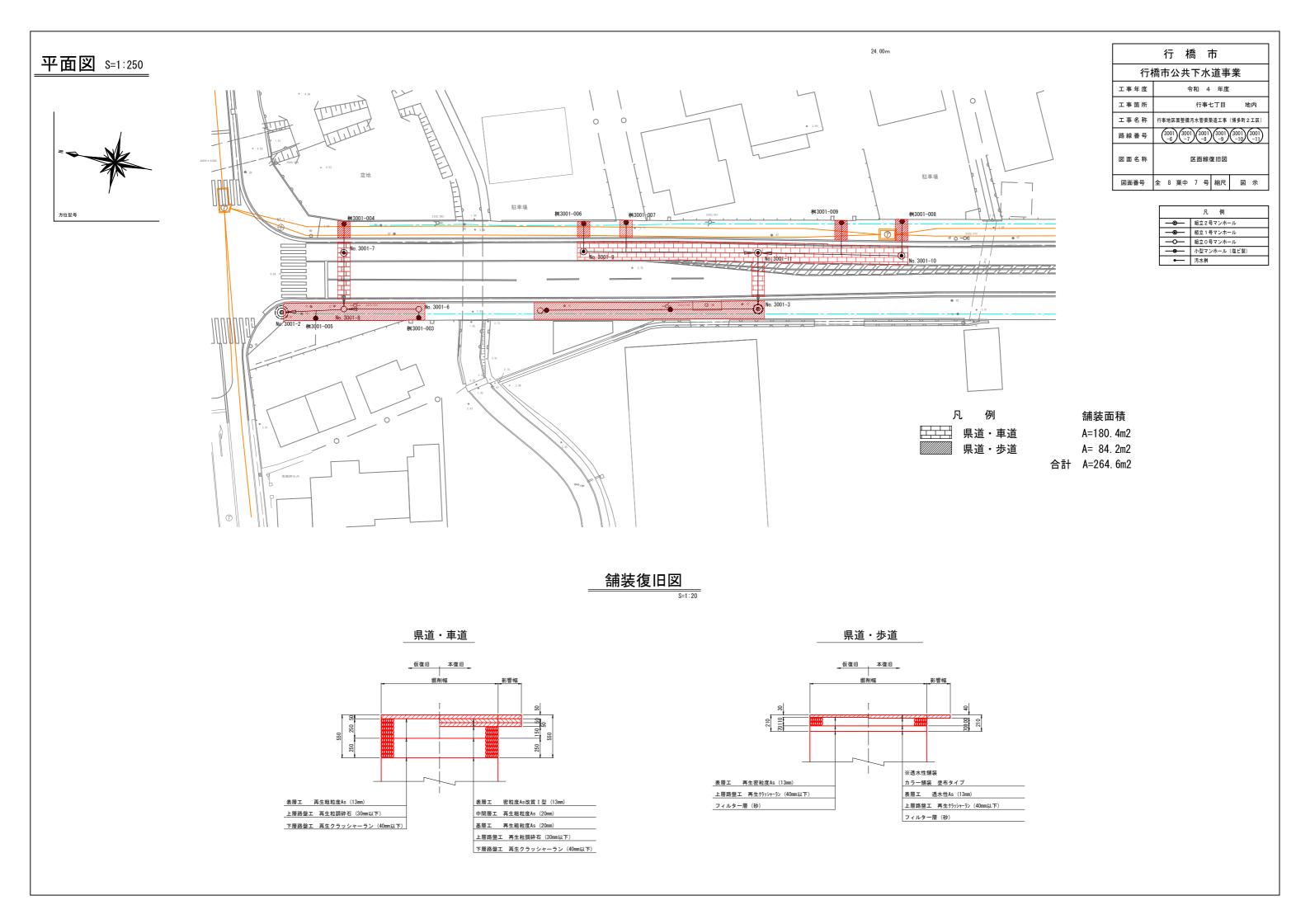


掘削深	矢板長	支保工材 段数	根入れ長
1.50< H ≦1.80m	2. 00m	1段	
1.80 < H ≦2.00m	2. 50m	1段	
2.00 < H ≦2.30m	2. 50m	2段	20㎝以上
2. 30 < H ≦2. 80m	3. 00m	1段	
2. 80 < H ≦3. 30m	3.50m	1段	

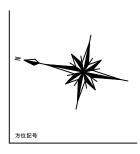
アルミ矢板建込 タイプ② (アルミ矢板: L=2.50~3.50m) (掘削深: H=2.00<H≦3.30m)



		行	橋	市		
	行橋市公共下水道事業					
工事与	年度		令和 4	4 年度		
工事簡	箇 所		行事	七丁目	地内	
工事名	名称	行事地区面	整備汚水管渠	築造工事	(博多町2工区)	
路線番	番号					
図面名	名称		土留工	標準図		
図面	番号	全 8 葉	中 6 号	縮尺	S=1:20	



## 平面図 S=1:250



	行 橋 市					
行	行橋市公共下水道事業					
工事年度	令和 4 年度					
工事箇所	行事七丁目 地内					
工事名称	行事地区面整備汚水管渠築造工事(博多町2工区)					
路線番号	$ \begin{pmatrix} 3001 \\ -6 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3001 \\ -7 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3001 \\ -8 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3001 \\ -9 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3001 \\ -10 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 3001 \\ -11 \end{pmatrix} $					
図面名称	区画線復旧図					
図面番号	全 8 葉中 8 号 縮尺 図 示					

	凡 例
	組立2号マンホール
—⊚—	組立 1 号マンホール
þ	組立0号マンホール
-	小型マンホール (塩ビ製)
•	汚水桝

